

コミュニケーション技術の 応用的な展開（全般）

担当講師名

鹿児島医療福祉専門学校

専任教員 中森 美恵子

研修領域	実施期日	会場
ケア領域	令和5年10月21日（土）ま たは10月22日（日）	沖縄県総合福祉センター西棟4階本会事務局 （zoom ミーティング実施）

到達目標

①利用者の表情、ふるまい、言葉、環境とのかかわりなどから、利用者の身体面・精神面・社会面の状況や変化に気づき、言語化できるとともに、利用者にとってのより望ましい状態に実現に向けてチームで取り組むことができる。

②適切な身体介護や非言語コミュニケーションの在り方を理解し、実行するとともに、後輩などに指導することができる。

修了時の評価ポイント

①自分自身のコミュニケーションの特性を説明し、それが介護場面においてどのように活かされ、何に留意すべきかを説明できる。

②利用者の尊厳が損なわれている状況及び利用者の尊厳を損なうケアについて、また、利用者の尊厳が保持された状況及び利用者の尊厳を支えるケアについて、介護サービスを受ける場面などの事例に基づいて具体的に説明できる。

③様々な場面において、利用者が何を求めているか、などについて、多角的に考察した上で、自身の考えについて根拠をもって説明することができ、後輩などにどのように指導・助言するかを説明できる。

テキスト・使用教材等

配布資料 各種ワークシート 各受講者の事前課題（※ 必ず、事前課題を持参してください。）

自職場等課題

【事前課題の内容】

自職場における介護場面での2者のコミュニケーションを振り返り、プロセスレコードをワークシートに沿って記入してください。作成するプロセスレコードは2つ。コミュニケーションをやり取りする対象は、ご利用者、ご利用者家族、職員同士、など。

- ①よりよい交流が出来たと思ったり、優れたコミュニケーションであると思ったりしたプロセスレコード
- ②コミュニケーションがうまくいかなかったり、そのコミュニケーションで対応が困難になったプロセスレコード

【事前課題の方法】指定のワークシートを使用する。

- ・どのような場面 ・登場人物 ・概要
- ・実際のコミュニケーション場面でのやりとり（行動、発言、表情、口調など、具体的に書く）

①について～よりよい交流が出来たと思ったり、優れたコミュニケーションであると思ったりしたポイントは何か、考えられる理由。

②について～コミュニケーションがうまくいかなかったり、そのコミュニケーションで対応が困難になったりしたポイントは何か、考えられる理由。

【事前課題の留意点】

職場内における、日常のケア場面でのコミュニケーションを振り返り、記録として可視化できていること。

【事後課題のねらい】

修了時の評価ポイントを踏まえ、自職場において、実践に活かすための具体的な目標設定や提案ができる。

【事後課題の内容】

自職場で経験したコミュニケーション困難事例を挙げ、ワークシートに沿って、①どのような場面で、②登場人物は誰で、③具体的な内容はどのようなことか、④考えられる原因は何か、⑤コミュニケーションについての課題は何か、⑥その対応方法について、講義での学びを踏まえて、⑦どのような取り組みを行っていくかの考察、を述べてください。